

第10回北海道食育推進優良活動表彰の概要

北海道農政部食の安全推進局食品政策課

1 北海道食育推進優良活動表彰について

道民の食育に対する関心を高め、道内の食育推進活動を促進するため、食育の活動を積極的に行い道内における食育の推進に貢献している個人または団体に対する表彰事業を平成26年度に創設。今回で10回目の実施。

2 選考懇談会の開催

有識者4名で構成される選考懇談会を12月11日(月)に開催し、4件の表彰候補者を決定。

3 表彰者(五十音順・敬称略)

選考懇談会の決定を踏まえ、次のとおり表彰者を決定。

| 受賞者名 | 取組概要／主に評価された点 |
|-----------------------|---|
| カドウフーズ株式会社 (函館市) | 地域子ども達や高校生などを対象に、規格外などの未利用野菜を活用した商品の製造工程の見学や商品の共同開発に取り組む 活動開始年：平成22年(2010年) |
| | 食品ロスをなくすため、マッチングと企業の利益を結び付けるとともに、食育としての意味も持っている。学生と一緒に食品廃棄の現状を調査し、それが商品になること五感で体感してもらう取組は新しい。 |
| 高橋 未佳 (釧路市) | 釧路短期大学生活科学科講師、ジビエ活用コーディネーター エゾシカ伝道師として、道内のエゾシカの現状やエゾシカ肉の調理方法などを伝える活動を実施 活動開始年：平成29年(2017年) |
| | エゾシカの食文化の定着に向けて、命あるエゾシカの命をきちんと食べるという思いがぶれずに、個人ながら数多くの活動を行っている。グループ化するなど、活動を継続し広げる工夫を期待。 |
| 当麻町 (上川郡当麻町) | 未来を創造する当麻子ども達に農業や食育の体験機会を提供する「田んぼの学校」を町が設置、運営 活動開始年：平成27年(2015年) |
| | 関係者が連携して協力し、地域をあげて、小中学生に田植えと稲刈りを体験させ、給食に使うという食育に取り組んでいる。心育の場として食育に取り組むという理念が明確。道内市町村に広がることを期待。 |
| 北明やまざと幼稚園 (河西郡芽室町) | 食農教育「やまざと食農プロジェクト」を通して、地元基幹産業を知り、地元根差した人間形成の基礎を培う 活動開始年：令和元年(2018年) |
| | 動物を飼育し、排泄物から作った堆肥を畑にまき、作物を収穫し、食べて後片付けするという一連の循環を幼児に体験させる食育を行っている。なぜ食育をやるのかを熟考し、食育を通じて、生きていく上で必要な様々な要素に結びつけ、創作力や発想力を伸ばすことを考え取り組んでいる。 |

5 表彰式

令和6年1月に、関係総合振興局において賞状の贈呈を行う。
振興局長から賞状及び副賞を授与し、懇談、記念撮影等を行う。

6 事例発表会

日時：令和6年2月5日(月)14時～16時

開催方法：オンライン(Zoom Meeting)

内容：優れた事例の取組発表と質疑、講評に加えて、各地の表彰式の様子を報告